



# 立西巻き

尼崎市立立花西小学校  
2026. 3. 5 (木)  
No.57

[ 校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより) ]

## 「いつもありがとうございます (\*^-^\*)」

長年、子ども達の心のオアシスになるようにと、お花をいけてくださっていた飯干さんが天国へ召されたことは立西巻き 54 号でお知らせしました。

先日、もう二度と入るはずのない生け花ボックスに、新しく春の花がいけてありました。「あれ、飯干さん??」と驚く子どもの声が聞こえます。



新たなうれしいお知らせをお伝えします。

先月より、MOA所属の渡瀬さんと堀内さんが、そのあとを引き継いでくださることになったのです。先日、おひな様近くの日には、空き瓶に色紙で作った着物を着たおひな様仕様の花瓶もありました。平日の昼間にいつのまにか来校くださり、お花をいけてかえられます。ふと見ると、そこに素敵なお花があるのです。心がほっとします。さらには、渡瀬さんと堀内さんが、すてきなエピソードをお聞かせくださいました。



「お花をいけていたら、小さな1年生の子がそばにやってきて『いつもありがとうございます。』と言ってくれました。こんな小さな子がそんな言葉を

言ってくれて、驚きました。とてもうれしかったですよ。すばらしいですね。」

「通りかかった保護者の方が『お世話になっています。』とお声かけくださったんですよ。」とのことでした。生け花が、これからも子ども達や私達の心を癒し、あたたかくやさしい言葉を引き出していくと思うと、本当に感謝の言葉しかありません。どうぞ、保護者の皆様も来校の際は、正面玄関にある飯干さん手作り生け花ボックスに飾られた、渡瀬さんと堀内さんの生け花をご鑑賞ください。飯干さんは、亡くなられましたが、飯干さんの子ども達へのお気持ちは、ずっと変わらず、生け花にこめられているかのようです。受け継がれた生け花と渡瀬さん、堀内さんのご紹介をさせていただきました。

## 現在と過去をいったりきたり、そして未来へ

2月27日(金)。尼崎探検事業を活用し、6年生は、お別れ遠足として尼崎城、尼崎歴史博物館、田能遺跡へ出かけました。この学年は、3年



生時にも行った場所でしたが、子ども達が言うには、学年が上がると歴史を学



んだこともあり、視点が変わって、さらによく楽しめたとのことでした。着物や忍者衣装を着たり、弥生人になって、石包丁を使ってみたり。本物の弥生式土器に触れ、落とすまいと緊張したあの瞬間。たくさん笑って、みんなで遊んだ城址公園。一生の思い出になったでしょう。6年生は、あと数日

で卒業です。さあ、ここからは、新たな未来を自分達で築いていくことになります。応援しています!!